

岐阜県立吉城高等学校

学 校 長 下平 貴昭

学校住所 飛騨市古川町上気多 1987-2 電話 0577-73-4555

- 1 会議の名称 岐阜県立吉城高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 評 議 員 | 井端 浩二 | 井端カメラ |
| | 清水 正義 | 卒業生の保護者 |
| | 下畑 旬平 | 飛騨古川青年会議所理事長（今回は欠席） |
| | 山川美奈子 | 主婦 |
| | 吉野 弘子 | 吉城福祉会評議員 |
- （委員名は五十音順）
- | | | |
|------|-------|--------|
| 育友会長 | 沼田 幸一 | |
| 学 校 | 下平 貴昭 | 校長 |
| | 小栗 英幸 | 教頭 |
| | 西尾 陽子 | 事務長 |
| | 川上 齊 | 教務主任 |
| | 高ノ山裕一 | 生徒指導主事 |
| | 藤守 学 | 進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援、協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成27年1月26日（月）14:30～16:50 吉城高等学校会議室
評議員4人、育友会長及び学校6人が出席
- 5 会議の概要

テーマ 吉城高等学校の今年度の取組と来年度の課題について

- 学 校 （資料にそって教務部、生徒指導部、進路指導部から本年度の取組、来年度の課題等を説明した。）
- 意見1 携帯やスマホで動画をアップするなどの事例はないか。
- 学 校 あった。深く考えず、軽い気持ちで掲載していた。指導をした。
- 意見2 学校での指導も必要だが、家庭で指導すべきことである。育友会からも注意喚起をしていきたい。
- 意見3 学校評価のアンケート結果について、多くの項目において肯定的意見が増加したとのことだが、否定的意見はどうか。
- 学 校 肯定的意見が減り否定的意見が増えた項目は2つのみで、その値も2%程度であった。本校が現在取り組んでいる方向を認めていただいた、と思っている。

- 意見 4 吉城高校のイメージを中学生の保護者へアピールする方法を工夫するべきだ。自分の子どもが通うようになって、吉城高校の良さが分かった。
- 学 校 現在は、地元中学校の2年生との交流を検討している。また、地元小学校の児童及び保護者との交流も検討している。
- 意見 5 中学校の先生方に対してはどうか。
- 学 校 地元中学校の3学年の先生方へは、説明会とは別に説明に伺っている。
- 意見 6 地元の高校へ通うと、金銭的にも時間的にも余裕ができてよい。
- 意見 7 学校祭で展示発表を見たが、活気がなく、力が入っていない気がした。また、廊下ですれ違った生徒から、誰一人、挨拶をされなかった。
- 意見 8 3年生の演劇は大変、盛り上がっている。
- 意見 9 展示物についても、子どもたちは一生懸命、取り組んでいる。
- 意見 10 運動会を復活してはどうか。生徒の活動の様子が見られ、学校のアピールにもなるのではないか。
- 意見 11 学校祭の一般公開を検討してはどうか。
- 学 校 これまでの経緯や近隣他校との関係もある。保護者向けや近隣施設の方等を招待する形での公開は行っている。
- 意見 12 挨拶は、なかなか自発的にはしない。こちらから声をかけると返してくれる。
- 意見 13 挨拶は大事だ。
- 意見 14 挨拶は家庭の躰である。
- 学 校 挨拶については日頃からの指導は必要であるが、強制的な指導は好ましくない、と考えている。今後、様々な機会を通じて、生徒に指導していく。

6 会議のまとめ

本校の現状と取組の様子を十分に理解していただいた上で、今後の取組、指導及び広報についての助言をいただいた。ぜひとも、今後に生かしたい。